



第162号

編集発行

愛知学院大学
事務局 庶務課

☎ 470-0195

愛知県日進市岩崎町
阿良池12

電話 (0561) 73-1111(代)

愛知学院創立132周年

社会のニーズに
応える人材育成

学 院 長
小 出 忠 孝

式辞(要旨)
本日学院創立132周年記念式を迎える事が出来、誠に喜びに耐えません。今日の132年間、歴代の関係各位のご努力とご支援に深甚なる敬意と謝意を捧げるものです。

「学院発展の基盤」

本日の創立記念日にあたり第一に銘記すべきことは、本学院が開祖道元禅師の教えを建学の精神とし、明治9年創設の曹洞宗設立の私学で、中部で最も古い歴史と伝統を持つ名門学園であることです。次に戦後の学制改革に際し

本学は時代の先端をきり、昭和25年に短大を、昭和28年に道元禅師700回大遠忌の報恩事業として大学を創設した事です。戦後教育界の発展のトップをきった小出有三初代学院長の先見の明と実行力に心から敬意を表すものです。

第三に昭和36年中部地区最初の歯学部を設置した事です。これにより本学のステータスは飛躍的に向上し財政的基盤も確立され、大愛知学院発展の原動力となったのです。

第四に昭和51年に学院創立百周年を記念し、日進キャンパスを開設した事です。緑豊かな50万㎡の広大なキャンパスの設立が、本学の飛躍的発展の基礎となったのです。

「大学の飛躍的発展」
当時わが国は高度成長期にあり社会の急速な進展、時代の要請に対応し、本学では次々と新学部・学科、大学院を増設した定員増を行い、学生1万数千人の大規模な総合大学へと伸展させ、社会のニーズにこたえてきました。

その結果、現在8学部17学科、大学院8研究科、短大1学科に教職員1千名、学生1万2千名、同窓生10万余名を有する中部地区最大級の規模と、充実した内容を誇る私立の総合大学へと飛躍的に発展してきました。

「ニーズ対応の新学科」
本学では昨春グローバル英語学科、ビジネス情報学科、現代企業学科を増設、今春宗教文化学科、健康栄養学科を開設しました。現在国民の健康長寿への強い要望に対し、すでに心身科学部に健康科学科、心理学部を設置しましたが今春、栄養・食生活の面から健康づくりを教育する健康栄養学科を開設しました。本学科は従来の栄養士養成の他

に、病院においてチーム医療の一員として活躍出来る管理栄養士(臨床栄養士)も養成します。一方大学院では今春健康科学専攻の研究科を開設し、健康に関する高度の研究と共に、保健体育、養護教育の専修免許も取得できます。

また来春に大学院薬科学研究科を増設し、より高度の知識と技術を備えた専門薬剤師及び研究者の養成と共に、社会人薬剤師の再教育を行い地域貢献にも努めます。さらに短大歯科衛生学科では来春専攻科口腔保健専攻(1年)を増設し、大学卒の資格を有する高度の歯科衛生士を養成します。この様に心身科学部、薬学部、歯学部を充実強化し、歯学部と共に地域の医療系分野の教育研究の中心として貢献してまいります。

「教育研究の充実」
昨年歯学部では「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」の厳しい審査に合格し、GP採用校となりました。また歯学部は本年歯科医師国家試験で昨年に続き私学で日本一でしたが、GPと共に本学の教育内容の充実を示すものです。一方研究面でも歯学部では、研究高度化推進事業のハイテクリサーチ・センターに選定され5年間特別研究助成をうけましたが、本年さらに研究の継続を申請中です。また本学は文科省の科学研究費の面でも中部のトップクラスにありますが、何れも本学の研究レベルの高さを示すもので、大いに誇りと

「学院大学の誇り」
以上本学では時代の変化に対応し絶えず改革の努力を続けて、教育研究の充実を努めています。一方私学として決して「変えてはならないもの」がある事を忘れてはなりません。それは創立以来堅持してきた建学の精神「行学一体・報恩感謝」です。この建学の精神を体した卒業生を、一人でも多く社会に送り出す事が、私学としての本学の特色であり、使命であります。本日創立132年の輝かしい歴史をふり振り返り、学院の今日ある姿を理解した時「学院大学の教職員・学生である」ことに大きな誇りを持って頂きたい。そして本学が「明日に続く確かな歩み」を続け、21世紀に大きく飛躍するため、各人が夫々の立場で努力される事を要望するものです。

愛知学院創立132周年記念式典が10月15日(水)日進キャンパス百周年記念講堂で挙行され、第一部の式典では小出学長の式辞に続き、勤続表彰、クラブ表彰などが行われた。また、平成20年度永年勤続表彰は次の皆さん。

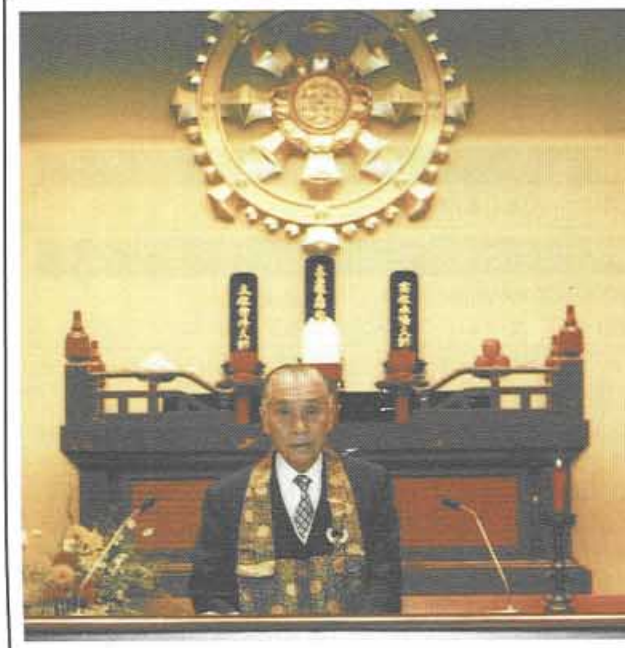
「教育環境の充実」
本学では昨春完成した学生会館に次いで、第一食堂の改造新築工事が今秋完成致しました。三階建の新学生食堂棟は一階が専門店フードコート(500席)、二階はカフェテリアコート(700席)、三階は多目的ホール(300席)で、エスカレーターを設置する全面カーテン・ウォールの斬新なデザインの新らしいシンボルとします。この様に学生生活環境を整備し、教育環境の一層の充実に努めています。

愛知学院創立132周年記念式典が10月15日(水)日進キャンパス百周年記念講堂で挙行され、第一部の式典では小出学長の式辞に続き、勤続表彰、クラブ表彰などが行われた。また、平成20年度永年勤続表彰は次の皆さん。

愛知学院創立132周年記念式典に続いて、第二部の物故者追悼会では、小出学院長が導師をつとめ厳かに営まれた。

この日の慰霊の対象は、平成19年10月1日から平成20年9月30日までの間に逝去の届出のあった本学関係物故者68霊位(うち教職員2名、学生66名)。

ご遺族、教職員、大学後援会同窓会役員、学生らが参列し、読経の中焼香をし、小出学院長が挨拶を述べ、物故者の冥福をお祈りした。



愛知学院創立132周年記念式典が10月15日(水)日進キャンパス百周年記念講堂で挙行され、第一部の式典では小出学長の式辞に続き、勤続表彰、クラブ表彰などが行われた。また、平成20年度永年勤続表彰は次の皆さん。

愛知学院創立132周年記念式典に続いて、第二部の物故者追悼会では、小出学院長が導師をつとめ厳かに営まれた。

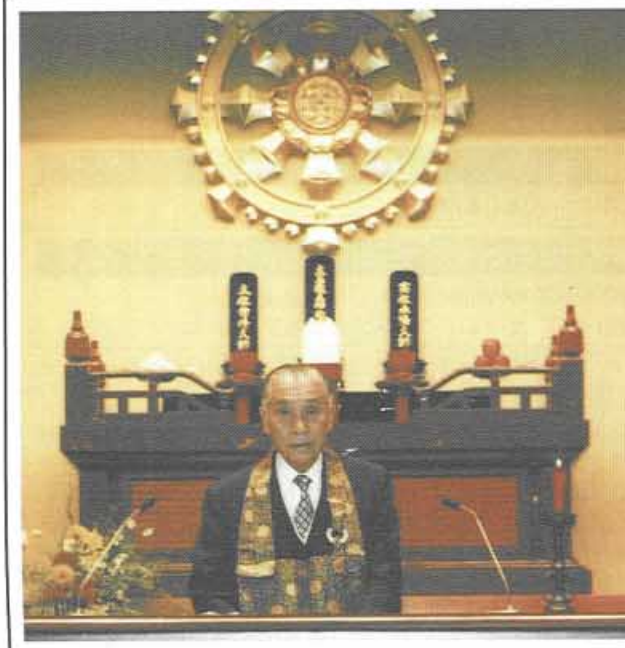
この日の慰霊の対象は、平成19年10月1日から平成20年9月30日までの間に逝去の届出のあった本学関係物故者68霊位(うち教職員2名、学生66名)。

ご遺族、教職員、大学後援会同窓会役員、学生らが参列し、読経の中焼香をし、小出学院長が挨拶を述べ、物故者の冥福をお祈りした。

愛知学院創立132周年記念式典に続いて、第二部の物故者追悼会では、小出学院長が導師をつとめ厳かに営まれた。

この日の慰霊の対象は、平成19年10月1日から平成20年9月30日までの間に逝去の届出のあった本学関係物故者68霊位(うち教職員2名、学生66名)。

ご遺族、教職員、大学後援会同窓会役員、学生らが参列し、読経の中焼香をし、小出学院長が挨拶を述べ、物故者の冥福をお祈りした。



愛知学院創立132周年記念式典が10月15日(水)日進キャンパス百周年記念講堂で挙行され、第一部の式典では小出学長の式辞に続き、勤続表彰、クラブ表彰などが行われた。また、平成20年度永年勤続表彰は次の皆さん。

愛知学院創立132周年記念式典に続いて、第二部の物故者追悼会では、小出学院長が導師をつとめ厳かに営まれた。

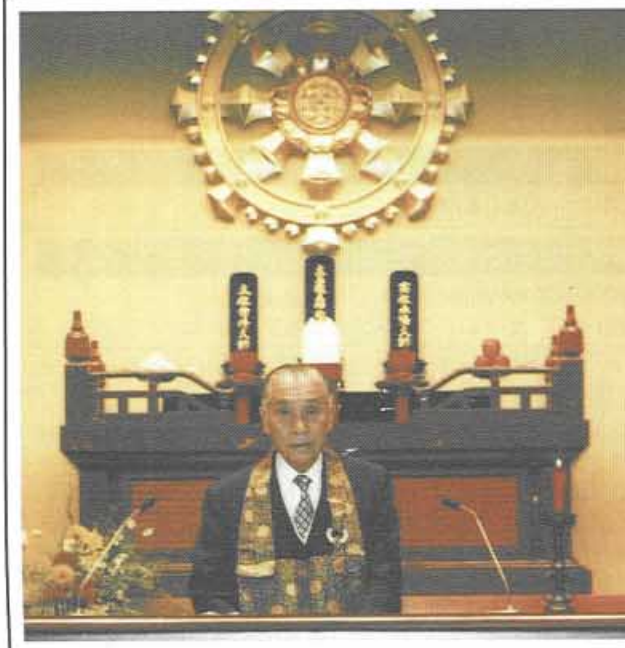
この日の慰霊の対象は、平成19年10月1日から平成20年9月30日までの間に逝去の届出のあった本学関係物故者68霊位(うち教職員2名、学生66名)。

ご遺族、教職員、大学後援会同窓会役員、学生らが参列し、読経の中焼香をし、小出学院長が挨拶を述べ、物故者の冥福をお祈りした。

愛知学院創立132周年記念式典に続いて、第二部の物故者追悼会では、小出学院長が導師をつとめ厳かに営まれた。

この日の慰霊の対象は、平成19年10月1日から平成20年9月30日までの間に逝去の届出のあった本学関係物故者68霊位(うち教職員2名、学生66名)。

ご遺族、教職員、大学後援会同窓会役員、学生らが参列し、読経の中焼香をし、小出学院長が挨拶を述べ、物故者の冥福をお祈りした。



愛知学院創立132周年記念式典が10月15日(水)日進キャンパス百周年記念講堂で挙行され、第一部の式典では小出学長の式辞に続き、勤続表彰、クラブ表彰などが行われた。また、平成20年度永年勤続表彰は次の皆さん。

愛知学院創立132周年記念式典に続いて、第二部の物故者追悼会では、小出学院長が導師をつとめ厳かに営まれた。

この日の慰霊の対象は、平成19年10月1日から平成20年9月30日までの間に逝去の届出のあった本学関係物故者68霊位(うち教職員2名、学生66名)。

ご遺族、教職員、大学後援会同窓会役員、学生らが参列し、読経の中焼香をし、小出学院長が挨拶を述べ、物故者の冥福をお祈りした。

愛知学院創立132周年記念式典に続いて、第二部の物故者追悼会では、小出学院長が導師をつとめ厳かに営まれた。

この日の慰霊の対象は、平成19年10月1日から平成20年9月30日までの間に逝去の届出のあった本学関係物故者68霊位(うち教職員2名、学生66名)。

ご遺族、教職員、大学後援会同窓会役員、学生らが参列し、読経の中焼香をし、小出学院長が挨拶を述べ、物故者の冥福をお祈りした。

本学文学研究科研究員青山治世氏、 Manik Man Bajracharya氏の2氏 平成20年9月30日付で 本学より博士号授与



青山氏は、昭和51年生。平成11年本学文学部歴史学科卒業後、本学大学院文学研究科歴史学専攻博士前期課程、同研究科博士後期課程後期課程を満期退学。平成16年より本学文学研究科歴史学専攻研究員。なお、中国政府奨学金で中国人民大学に留学している。

学位論文は、「清末中国における在外領事館設置問題の研究―「南洋」領事の増設問題を中心として―」

本論文は19世紀から20世紀の初頭、清朝政府が洋務運動という近代化政策に着手し、日清戦争、義和団運動を経て、それが本格化していく光緒新政時期の外交問題に焦点を合わせている。いわば中国の近代化、国際化の問題を論じ、説明が不十分で、平板、単線的であった従来の研究に対して、外交側面から果敢に光を当て、当時の報告書など漢文・中国語の一級史料を用い、実証的に明らかにしたのが特色である。かくして、清朝政府の政策決定過程、政府内の激しい論争、及び植民地宗主国の西欧諸国との交渉をビビットに描き出した点に、画期的な意義がある。



Manik Man Bajracharya氏は、昭和44年生。パタン・マルチバル大学文学部卒業後、トリブバン大学大学院文学研究科History, Culture and Archaeology学専攻修士課程修了、本学大学院文学研究科英語圏文化専攻博士課程満期退学。平成19年より本学文学研究科英語圏文化専攻研究員。平成5年よりロータス・リサーチ・センター リサーチオフィサー。

学位論文は「Saptavidha nuttarapuja in Newar Buddhism」インドの要素を数多く残している大乘仏教は、ネパールのカトマンジュ盆地に住むネワール人の間に見られる大乘仏教のみである。ネワール仏教は、大乘仏教の中の一形態としてのタンドリズムの形態を採っている。

ネワール仏教において儀礼は実に盛んに行われており、それぞれの寺院の檀家のグループ(サンガ)あるいはそれぞれの家族が執行主体となる儀礼のうちではもっとも大掛かりな儀礼である。本論文はその儀礼の構造を分析し、インド後期大乘仏教のあり方を研究したものである。



平成
20年度

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 本学 歯学部採択される

支援区分

研究拠点を形成する研究

事業名

未来口腔医療の戦略的研究基盤拠点形成
～口腔領域におけるトランスレーショナルリサーチの実践～

1 研究目的・意義

本事業は平成15年度～平成19年度私立大学学術研究高度化推進事業・ハイテク・リサーチ・センター整備事業「口腔・顎顔面関連疾患に対する先端医療およびカスタムメイド医療を目指した包括的研究」の研究成果を基に、より実践的で安全な未来口腔医療として貢献できるよう継続的に研究を遂行し、口腔領域のトランスレーショナルリサーチの拠点形成を行なう。そこで、本事業では歯・歯周・顎骨・血管の再生プロジェクトにより、骨再生のための新規骨補填材の臨床応用方法、高齢有病者への新たな歯周病治療法および生活習慣病に対する再生医療の確立を行う。また、遺伝子プロジェクトにより、遺伝子バッキングと遺伝子解析に基づく口腔疾患の予防・治療のトランスレーショナルリサーチを実践する。さらに組織工学および歯科材料学による安全性適合性評価と疫学的調査による有効性・安全性・経済性の判定を行う検査プロジェクトを開発して、地域口腔医療の安全性と有効性を確保する。本事業は、未来の口腔医療をめざしたトランスレーショナルリサーチを実践し、国民の健康増進とQOL向上に貢献することを目的とする。

2 研究により期待される効果

本事業は、現況の口腔医療の先端に位置する先進医療よりさらに進んだ未来をめざす未来口腔医療研究を推進して、新しい医療を開発し、臨床の場で試用してその有効性と安全性を確認することを目的としている。この未来口腔医療研究により「食べる」「味わう」「話す」「嚥下する」「表情」に関係する口腔領域の疾患の予防・治療が可能となる。さらに、本事業では、従来の再生医療・遺伝子治療の研究・実践のみならず、それらの有効性・安全性・経済性を組織工学、歯科材料学および疫学により判定する検査プロジェクト部門を開発して、最先端医療の研究・実践を、客観性の高い審査・評価のもとで行う。これらのことにより、地域での口腔医療の有効性・安全性・経済性を判定する拠点になり、国民の口腔医療、健康確保および健康寿命やQOLの向上に大きく寄与する。

歯学研究科 猪俣恵さん

New Clinical Impact Poster Awardを受賞



本学歯学部歯周病科野口俊英教授および共同研究先である国立長寿医療センター研究所口腔疾患研究部松下健二部長の研究チーム(猪俣恵、引頭毅、石原裕一)が、2008年 American Academy of Periodontology's Annual Meeting (アメリカ歯周病学会)にてNew Clinical Impact Poster Awardを受賞した。

演題名は「Arginine-specific gingipain A from Porphyromonas gingivalis induces Weibel-Palade body exocytosis and enhanced activation of vascular endothelial cells through protease-activated receptors」で、歯周病と全身疾患の相関関係を説明する分子メカニズムの一つを明らかにした研究内容であった。

アメリカ歯周病学会は歯周組織および全身の健康の推進、歯周病治療の発展を目的の一つとしている学会であり、引き続き野口教授チームは、歯周病と全身疾患の相関関係についての研究を継続していきたいと考えている。

歯学部保存修復学講座、歯学部資料展示室副委員長

柳原 保准教授

「愛知県博物館協会功労賞」受賞



柳原 保准教授(歯学部保存修復学講座、歯学部資料展示室副委員長)が、本年6月19日、愛知県博物館協会から、その永年の博物館活動の功績が認められ「愛知県博物館協会功労賞」を授与された。

柳原 保准教授は歯科資料展示室の副委員長として、1995(平成7)年に歯学部歯科資料展示室が開設された当初より現在まで永年にわたり、歯科資料の収集・管理を行い歯科資料展示室の発展に大いに寄与した。また社会教育活動として学童・生徒や市民を対象として、「歯の大切さ」講義してきた。また、本学が社会と結びついた大学の活動として大学基準協会から評価され、本歯科資料展示室および愛知県歯科医師会歯の博物館と名古屋科学館で、1990(平成2)年から毎年実施してきている「歯のびくりサイエンス」(2003年中日社会功労者賞受賞)の中心メンバーとして参画してきた。これらは、歯学部歯科資料展示室のみならず、愛知県の博物館活動推進の模範となる活動で、その功績は真に多大であるとして、その博物館活動の功績が評価され授与された。

歯学部歯科資料展示室は、歯学部創立35周年を記念して、楠元キャンパスの図書館歯学部分館(現歯学実習館情報センター1階)に開設され、歯科資料の保存収集展示研究、および社会教育活動を行ってきた。特に世界および日本の咬合器(顎の動きを再現する器械で、義歯の作製に必要)コレクション(数200)は日本一、世界でも数少ない施設である。また、鳥獣保護法による「特定鳥獣保護管理計画」による特別天然記念物の愛知県産の日本カモシカの頭骨標本は約850個体及び、日本は勿論、世界一のコレクションになっている。歯科資料展示室(開館は毎週火、金曜日、10:00～16:00)は、平成19年6月22日、愛知県における博物館類似施設としての承認、愛知県博物館協会に加盟している。平成22年に愛知県・名古屋でCOP10(第10回生物多様性条約締結国会議)が開催され、愛知学院大学を始め愛知県の大学は全面的に支援することになっている。カモシカのシンポジウムなど、本歯学部歯科資料展示室のCOP10での役割が期待されている。

(文責 歯科資料展示室委員長 中垣晴男)

11月7日(金) 商学部の4ゼミが豊田市に出向き、豊田市中心市街地の街区、地域資源調査を豊田商工会議所、河木副会頭、豊田商工会議所事務局の方から中心市街地を案内され共同演習を実施した。この演習内容は、大学生の



視点から豊田市中心市街地を商業施設・商店街を中心に1時間以上歩き、まちの活性化に役立つ地域資源の発見や、今後のまちづくりに結びつく街区調査、商店街調査を行うもので、調査後、豊田市役所南庁舎会議室にて、商工会議所河木副会頭、豊田市産業部商業観光課宮川課長、豊田市中心市街地活性化協議会ETCCM杉本チーフから、中心市街地活性化の取り組み、民間の中心市街地活性化に向けた主な事業・推進体制についての説明があった。その後、質疑応答、意見交換を行ない、商学部加藤勇夫客員教授より、将来ある若者・大学生の視点をまちづくりの参考にしてほしいとの締めがあり、終了した。



なお、この共同演習には日本商業施設学会中部部会の商業施設士、建築士等の専門家の視点からも調査を行なった。また、高校生の視点から愛知県立岡崎商業高等学校の教諭、生徒らも調査に参加した。

商学部 加藤・尾崎・小見山・脇田ゼミ 豊田市中心市街地 まちづくり共同演習

日本の大学における
FDの現状と今後の課題

2008.10.7 愛知学院大学

三重大学 高等教育研究開発センター
長瀬 昌子

愛知学院大学では平成15年にFD(ファカルティ・ディベロップメント)委員会を設置し、大学の2大機能である教育と研究の発展について検討を進め、関係する諸機関と連携して、特に教育機能の改善をすることによって、本学の大学としての質的向上を図ることを目的として活動をしている。

その活動の一環として、昨年の研究会に引き続き、10月

第6回全学FD研究会開催

7日午後5時より日進キャンパス12号館G105教室において、第6回全学FD研究会が実施された。

今回の研究会では、講師に三重大学高等教育研究開発センターの長瀬多代氏を講師に招き、「日本の大学におけるFDの現状と今後の課題」と題し、主に①大学における教育の質的保証、②FDのプログラム内容、③授業改善の取り組み、④FDプログラムの開発を柱に、今年3月に中央教育審議会・大学分科会より出された「学士課程の構築に向けて」などの、文部科学省が提唱している事例などを挙げながら、現在の大学の課題点、今後の課題などについて約2時間の講演があった。

当日は多数の教職員が参加し、本学の教育に生かせるよう真剣に講演に耳を傾ける姿や、講演の後は熱心な質疑応答がなされた。

オープンキャンパス開催

今年もオープンキャンパスが春4月20日(日)、夏8月2日(土)・3日(日)、秋10月5日(日)に開催され、無事全日程が終了した。

4月では「行列のできる法律相談所」で有名な住田裕子弁護士の特集講演を主玉に、8月はAGU甲子園と題し、クイズ形式の問題を答えながら広大なキャンパスをめぐる企画や模擬授業28講座や体験プログラムなど、各学部協力のもと実施された。秋は入試本番を前に、より詳しい概要を聞きに、学科別個別相談や入試コーナーに多数の生徒・保護者が来場した。

今年は全3回のオープンキャンパスで約8,000名の



方が来場し広大なキャンパスを満喫していた。また、来場した生徒からは、「先輩の話を聞けてすごく親しみが湧いた。」「教員と直接話すことができてますます興味を持っていた。」など、進路選択に参考となったようだ。

「日本学術振興会」担当者による
科学研究費補助金制度説明会実施

9月8日(月)午後6時より楠元キャンパス薬学部棟2階204教室において、日本学術振興会研究事業部研究助成第一課長の岡本和久氏を招き科学研究費補助金制度の説明会が実施された。

この説明会は、今年4月より新たに教員の研究支援を目的に設置された研究支援センターが主催となり開催され、科学研究費補助金を直接担当している学術振興会の方を招いての説明会は、本学にとって初めての試みである。

説明会当日は、教職員約200名が出席し、①科学研究費補助金制度について、②平成21年度科学研究費補助金公募要領等についての説明がなされた。直接担当している事



務官ということもあり、具体的な事例や、また不正事例についても説明があり、直面している問題点など、本学教職員にとっても有意義な説明会となった。

説明会終了後には質疑応答の時間が設けられ、担当官との白熱した質疑応答がなされた。

2010年
就職戦線がスタート

リーマン・ブラザーズの倒産、株価の暴落、金融危機と経済の先行きは非常に厳しい状況にあります。いよいよ2010年の就職戦線がスタートとなります。

キャリアセンターでは、10月1日(水)・2日(木)の両日昼休みに3年生を対象に第3回進路・就職ガイダンスを行いました。参加学生数は1,653名(76.2%)で、昨今の世界の金融市場の話題を提供し来年度の就職活動は厳しくなるであろう旨の説明を行いました。



10月15日(創立記念日)には、金融業界セミナーを開催して金融の基礎知識・就職活動対策および信用金庫・地方銀行の役割と採用について浅野就職課長・人事採用担当者から講義を受けました。(受講者は170名)このように3年生を対象とした4年生による就職体験報告会、女子学生のための進路・就職ガイダンス、公務員志望者のためのガイダンスも実施して、キャリアセンターとして万全の支援体制を整えています。

今後は、10月28日・29日の第4回進路・就職ガイダンス、11月3日に就職実践講座(ダイジェスト版)、11月22日(土)29日(土)と1月29日(木)30日(金)に学内において大手企業をはじめとして300社の業界・企業研究セミナーを実施いたします。



3年生のご父兄におかれましては、2010年春入社の採用状況は日経調査による主要企業の回答は7.6%が減らす計画であります。このような状況を鑑み学生諸君に早くから準備をして、キャリアセンターの行事に積極的に参加するように喚起をお願いいたします。

1・2年生の低学年向けには、インターシップ(大学と企業などの連携のもと、学生が自らの専攻分野や将来のキャリアに関連した実習・研修的な就業体験・2単位を認定)を実施、今年は418名の応募があり345名(前年比2.3倍)がマッチングし200の企業・団体で研修をしました。研修期間は2週間で実質10日間ですが、研修を終えた学生諸君の表情はがらりと変わり自信に満ち溢れたものとなります。

秋学期開講の『キャリアデザイン』1・2年生を対象の科目(2単位認定)は、学生時代をどのように過ごすかによって、将来が決まってきます。働くこと・生きること何・「将来の自分」を探しませんか?をコンセプトに学内外からの講師による講義とグループワークを取り入れて実施しています。このようにキャリアセンターでは、低学年からのキャリア形成支援を全力で行っています。早くからキャリアセンターを大いに利用して納得のいく学生生活を送っていただきたいと思います。

ニュース!

栄サテライトセンターに
キャリアセンターの
相談窓口がオープン!

3年生諸君の就職活動中の相談(面接試験・エントリーシート・履歴書等)を就活中心地の栄でキャリアセンターの職員が常駐して支援します。



第56回

愛学祭

テーマ「パレット」

第56回となる愛学祭が10月31日から11月2日までの3日間、日進キャンパスで開催された。本年度は5号館の新築にあわせ、常設の野外ステージも大学祭のオープニングにあわせ新設され、華やかな大学祭となった。

今年のテーマは「パレット」。このテーマには、愛学祭の場を「パレット」に例え、参加する一人ひとりの個性の色を絵の具にたとえ、愛学祭というパレットの上で集い、見事に調和され、その調合されたものが「愛学祭カラー」となり、光り輝く愛学祭カラーを創り出すという願いがこめられている。

主な学術企画として、文化系サークルの研究成果発表の「学問の散歩道」。本学の教員2名による「ミニセミナー」スポーツ企画として、「フリースロー大会」「フットサル大会」「ソフトボール大会」。また、今回より「THEパレットフェスタ'08」と称し、各種ステージ企画など盛りだくさんの企画が行われた。また、東部丘陵線連絡協議会主催によるリニモ秋色ウォーキングの参加者も愛学祭を訪れ、会場は大いに賑わった。



今年のゲストは、「ハマカーン」と「ラバーガール」。共にテレビなどで活躍中の若手お笑い芸人で、「愛学祭お笑いライブ」では大勢の聴衆が詰めかけた。また、フィナーレでは、数多くの花火が打ち上げられ、溢れんばかりの歓声と拍手の渦に包まれた。様々な個性ある色が集い、光り輝いた第56回愛学祭「パレット」は、盛況の内に幕を閉じた。



新5号館(旧第1食堂) 新装改築オープン



日進キャンパス5号館が装いも新たにオープンし、それを記念し、10月29日多数の来賓を迎えてオープニングセレモニーが行われた。

小出忠孝学長、黒神聰学生部長、榊原譲後援会長、熊谷組武蔵名古屋支店長・丹羽英二建築事務所丹羽社長らのテープカット、挨拶のあと、



5号館3階に103インチのプラズマテレビを寄贈いただいた(株)ギガスに感謝状が小出学長より手渡された。

その後、厨房施設の点火式が行われ、食堂施設としての息吹が動き始めた。

従来の5号館は、昭和50年日進キャンパス移転時に建設されたもので、学生数の増加

に伴う席数の不足や、また学生の集う場所としてのニーズに合った日進キャンパスの目玉として新5号館の建設が進められてきた。

この新5号館は鉄筋コンクリート造の3階建てで、すでに完成している学生ホールと2階部分が渡り廊下で連結し、

延べ床面積は4092㎡。外観も新5号館前のランドスケープと相まったガラス貼りの外観で、開放的で広がりのあるコモン空間となっている。

また、内部には本学初のエスカレーターも設置され、キャンパスモールとして新たなスタートを切った。

館内の主な施設

1階(フードコート)

モスバーガー、スガキヤ、S&Bカレーバーの専門店。

座席数約350席、テラス席約50席

2階(カフェテリア)

カフェテリア形式の食堂で、井・麺類コーナーも設け、利用者が好みのメニューを選択し利用できる。

座席数約600席

3階(アッセンブリーホール)

会議・イベントなどに利用できる多目的ホール。

座席数300席

短期大学部に専攻科(口腔保健学専攻)設置 平成21年4月開設 設置届出中



本学短期大学部に専攻科(口腔保健学専攻)を、平成21年4月新たに設置するため文部科学省に設置の届出を提出中である。

短期大学に専攻科課程が設置されているという事は、あまり知られてはいないが、短期大学専攻科は短期大学卒

業者に、その短期大学の学科の教育を基礎として、より専門的知識ならびに高度な技術を修得し、専門領域の進展に寄与できる人材を育成する目的で設けられている。

現代社会においては健康の維持・増進が重要視され、とりわけ毎日の営みに密着する口腔は人々の健康な生活に大きく関与し、生活の質を向上させるのに寄与している。さらに歯・口腔に関して社会の求める医療・保健ニーズも複雑かつ多様化している。

そこで、本学短期大学部においても、①包括的な口腔衛生の知識・医療技術を備えた人材の養成。②歯科医療の知識・技術のレベルアップ、スキルアップの支援。③問題発見、問題解決法を身につけ、

自己決定できる歯科衛生士の育成などを目的として専攻科を設置する。

さらに、2008年4月から独立行政法人 大学評価・学位授与機構において「学士(口腔保健学)」の学位が新設された。そこで、本学短期大学部専攻科は本機構に専攻科の認定を申請中である。本機構の認定を受けた短期大学の専攻科は教育内容、教育体制及び教員組織が4年制大学と同等以上と認められ、大学レベルの単位を修得することが可能となり、さらに所要の審査に合格すれば「学士(口腔保健学)」の学位を取得することができるようになる。

多くの歯科衛生士がキャリアアップのために学位を取得して、口腔保健学の構築と充実に参加し、人々の公衆衛生の向上に寄与できることを期待する。

屋外ウッドステージ

新設



学生の集いの場所として新5号館と併せ工事をしていた、屋外ウッドステージならびにオープンエリアの整備が終わり、装いも新たに完成した。

屋外ステージは10月31日、

愛学祭のオープニングに合わせ、オープニングセレモニーが行われ、小出忠孝学長、榊原譲後援会長、稲葉哲課外活動助成委員会委員長、熊谷組武蔵名古屋支店長・丹羽英二建築事務所前田副社長らのテープカット、挨拶のあと、チャリダー部の演技もあり、華やかな雰囲気の中行われた。この屋外ステージを含むオープンエリアは、ステージを中心としたラウンドスケープのデザインで、夏場は愛知万博でも好評だったドライミストが設置されており、夏場の暑い盛りの中でも、涼しさを感じることができるエリアとなっている。また夜間はライト



アップもされ、新しく完成した5号館とあわせ、新しい愛知学院のランドマークとなっている。

総合政策学部 創設10周年記念講演会開催

本学6番目の学部として平成10年4月誕生した総合政策学部(創設時 情報社会政策学部)が今年度学部創設10周年を迎えた。

創学部設10周年を記念し、去る9月13日(土)栄ガーデンパレスにて記念講演会が開催された。当日は県内の高等学校校長などの来賓をはじめ約150名が出席した。午前10時30分から小出学長の挨拶に続き、二宮総合政策学部長による学部10年の歩みの紹介、卒業生から見た学部のよさの紹介の後、若倉総合高等学校校長横井明氏による「高校総合学科の現状」の講演の後、愛知県教育委員会委員長(相山女学園大学教授・名古屋大学名

誉教授 梶田正巳氏による「教育の原点・学ぶことと考えること」と題した記念講演が行われた。

その後は懇親会も開かれ、参加者の懇親を深めた。



栄サテライトセンター 移転オープン

名古屋栄丸善ビルにあった栄サテライトセンターが、更なる設備の拡充をはかるため、同じく栄にある中日ビル11階に移転し、9月19日に完成、開所式が行われた。

開所式には、小出忠孝学長、榊原譲後援会長、堀田一郎中日ビルディング代表取締役社長らによるテープカットの後、小出学長、堀田中日ビルディング社長の挨拶があった。その後、装いも新たに同センター施設内を見学し、同ビル内にある中日パレスにて、開設披露の祝宴が行われた。

このサテライトセンターでは、商学・経営学・法学・総合政策の各研究科のサテライ

ト教室として、午後4時30分から午後9時20分までの間に3時間の講義が行われ、社会人30名を含み、延べ受講者170名が同センターで講義を受講している。

主な設備として、読書研究室に常時インターネットに接続されているパソコン6台や、マルチメディア教室を含む8つの講義室、心理臨床カウンセリングルームがある。

心理臨床カウンセリングルームは、移転前の丸善ビルでも開設されていたが、平成19年度のクリニック利用者は800件程あり、施設面積の拡大も求められており、今回の移転で増床され、多様なケースにも対応できる体制が整った。



また、栄という立地条件をいかし、就職活動を行う本学学生を対象に、キャリアセンタールの職員が、1月から6月までの就職活動にあわせ常駐し、学生の各種相談や問い合わせ、履歴書・エントリーシートなどの提出書類の添削指導、面接などのシミュレーション対策指導、就職活動中のメンタルケアなど就職活動中の学生を支援する。

2008年度

夏季海外語学研修

イギリス
コース

商学部

商学科3年

加藤 圭吾

私は夏休みを利用して海外語学研修イギリスコースに参加しました。旅程はエディンバラに3週間とロンドンの3日間でした。

エディンバラは石造りの建物や石畳の道路はどれも新鮮なもので感動しました。ホームステイ先のホストファミリーはとても温かく、本当の家族のように接してくれました。

学校では基本的な勉強から教室を飛び出してアンケートをとり発表したり、英語でドラマを演じたり、素晴らしい経験になりました。また、休日にグラスゴーに行き、中村俊輔が所属しているセルティックの試合を見ることができたことは最高の思い出でした。

この語学研修で過ごした3週間は、日本ではなんとなく過ごしている中で、この研修でまったく知らない土地で過ごすことは、毎日がとても刺激的で新鮮であり、充実した毎日を送ることができました。また、コミュニケーション能力や英語の能力を向上できた。

カナダ
コース

経営学部
経営学科3年
西山 雄真



経営学部
経営学科3年
西山 雄真

自分は正直、英語という教科が苦手だった。中学生の頃から勉強していたはずの英語は、金くと言っているほど頭に入っておらず、大学生活をふらふらと過ごしていた。そんな自分を変えてくれたのが今回の夏季語学研修だった。まず、生活などきちんとやっていたのか、授業にはついていけるか、不安しかなかった。出発前に比べて、帰りに胸を張って帰ってくることができた。

1ヶ月という短い間だったが、たくさん吸収することができた。英語力の向上はもちろんだが、ほかの国への人脈も広がった。国と国との文化の違いも学ぶことができた。そして何より親の存在をより深く感じることもできた。親の勧めで行った今回の研修ではプラスになった事しかなかった。

オーストラリア
コース

経営学部
ビジネス情報学科3年
齋藤 美香

他のメンバーも口を揃えて同じことが言えるのではないだろうか。カナダという国は素晴らしい。3週間は短い期間でしかた、一生の思い出になりた。今後海外へいける機会があったら、是非参加したいと思っていた。

私は夏休みに海外語学研修オーストラリアコースに参加しました。出発日まで期待いっぱいでしたが、初めての海外だったので不安もありました。でも、現地に着くとオーストラリアでの生活が楽しく、とてもワクワクしたのを覚えています。

ホストファミリーは、とても温かく迎え入れてくれて、居心地がよく過ごしやすいかったです。夕食後にはよく映画を一緒に観たり、休日には海や山登りに連れて行ってくれました。

現地の通っていた学校には、世界中から学生が集まって来ていて、同世代の他国の学生とも仲良くなり、母国語を教えあったり、授業後に一緒にスポーツをしたりして、交流することができました。3週間は英語を学ぶには短すぎる。

第6回ボンド大学
交換留学生決まる

ボンド大学は、オーストラリアの大学で、毎年多くの学生が交換留学しています。今年もボンド大学と愛知学院大学との間で、第6回交換留学生の選定が行われました。



今年で6年目となるオーストラリア・ボンド大学への交換留学生に心身科学部心理学科3年大脇麻美さんが決定しました。

7月24日(木)補元キャンパスの学院長室で奨学金伝達式が行われ、伝達式では、引田弘道国際交流センター所長、自身のゼミの指導教員である高木浩人心身科学部教授らが見守る中、小出忠孝学長より奨学金30万円が手渡された。

大脇さんは9月8日から12月12日までの1セメスターをボンド大学附属語学学校BUDYで語学を中心に学び、特にHotel Resort and Tourism Managementを学習し、将来の就職にも役立てたいと抱負を語っていた。

硬式野球部 愛知大学野球

秋季リーグ完全優勝
明治神宮大会出場も決定

愛知大学野球秋季リーグで本学が10月23日の愛知産業大戦に勝ち、2季ぶり39度目のリーグ制覇を勝ち点5の完全優勝で決めた。春季の苦い記憶をバネにした優勝で、ナインは田中監督を胴上げし感激した。

また、明治神宮大会出場をかけた大学野球の愛知・東海・北陸3連盟王座決定戦は、11月2日、名古屋市瑞穂球場で決勝があり、本学は東海リーグ1位の三重中央大学を1-0で破って2年ぶり3度目の優勝を果たし、13回目の神宮大会出場を決めた。

本学は11月15日から神宮球場で行われる明治神宮大会に出場。関東5連盟第2代表の常盤大と当たる。明治神宮野球大会での活躍が大いに期待される。



写真提供=中日新聞社

女子バレーボール部

東西インカレ全国4位

本学女子バレーボール部は7月20・21日の両日、東海大学湘南校舎総合体育館で行われた、平成20年度第3回東西インカレバレーボール女子選

抜優勝大会において、全国第4位の栄冠を手にした。また、個人賞として坂本育美選手(心身科学部健康科学科3年)がサーブ賞を獲得した。

この東西インカレへの出場資格は、東・西日本大学女子バレーボール選手権の上位各4チーム、合計8チームで実施され、対戦結果は次のとおり。



学院大 3-1 日体大
学院大 0-3 嘉悦大
3・4位決定戦
学院大 2-3 青学大

ウェイトトレーニング部

全日本学生ボディビル選手権で
全国優勝の偉業達成

10月26日、阪南大学にて行われた第43回全日本ボディビル選手権大会で、本学ウェイトトレーニング部の小野山大貴選手(文学部宗教学科2年)が見事優勝、また、山田祐輝選手(文学部宗教学科4年)が準優勝を手にした。

この大会は、全国各地大会から選出された代表31名で争われ、並み居る競合を相手に、優勝・準優勝と独占したことは本学にとっても大きな偉業であり、また、ウェイトトレーニング部創設以来の快挙でもある。

東海バレーボールリーグ戦
秋季大会
男女アベック優勝

東海大学バレーボール連盟(会長小出忠孝学長)主催の秋季リーグ(9月13日、10月19日)において、本学バレーボール部が男女アベック優勝を果たした。男子は2季ぶり39度目の優勝、女子も2季ぶり3度目の優勝で、昨秋に続き2度目のアベック優勝。

なお、男子の安藤健太郎選手(文学部日本文学科4年)が最優秀選手賞、木村泰輔選手(心身科学部健康科学科3年)がスパイク賞、ブロック賞、合志学選手(商学部商学科3年)がリベロ賞、サーブレシーブ賞を受賞。女子では、原田砂代子選手(心身科学部健康科学科4年)が最優秀選手賞・サーブ賞、水谷友梨子選手(心身科学部健康科学科2年)がスパイク賞、坂本育美選手(心身科学部健康科学科3年)がセッター賞をそれぞれ受賞した。

12月1日から行われる全日本バレーボール大学選手権大会での活躍が期待される。



平成20年創立記念日クラブ表彰一覧 (平成19年10月1日～平成20年9月30日)

この1年間、対外活動・試合などで優秀な成績を収め、本学の名声を高めた文化系・体育系クラブ(団体・個人)に対する「平成20年創立記念日クラブ表彰」が10月15日に行われた。

表彰の対象となる期間は平成19年10月1日から平成20年9月30日までの1年間。団体は、日本代表になったクラブ、全日本選手権大会で8位入賞まで、地方大会で優勝または準優勝、中部・東海地区大会で優勝、県大会で優勝したクラブ。個人は団体と同ランクの成績を収めた者のほか、最優秀選手賞やベストナイン等を受賞した者、その他、活動が特に顕著であったクラブや個人。

今回は団体35クラブ、1092人(うち歯学部13クラブ、389人・薬学部3クラブ、60人)と個人138人、42クラブ(うち歯学部13クラブ、45人・薬学部3クラブ、5人)が表彰を受けた。

▷一般表彰(団体の部)

クラブ名	大会名	成績
アイスホッケー部	中部学生アイスホッケー選手権	優勝
硬式庭球部	全日本大学対抗テニス王座決定試合	全国ベスト8
ソフトテニス部	春季東海学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦	優勝
＊	愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦	優勝
＊	全日本大学ソフトテニス王座決定戦	全国第3位
硬式野球部	愛知大学野球 秋季リーグ戦	優勝(明治神宮野球大会)
硬式野球部	東海選手権大会	優勝
サッカー部	愛知県サッカー選手権大会	優勝(天皇杯出場)
馬術	全日本学生馬術大会	全国8位:総合馬術競技
＊	中部学生自馬競技大会	団体1位:総合馬術競技・三種目総合
バレーボール部	東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会	優勝
ボクシング部	中部学生ボクシング選手権大会	優勝
ウェイトトレーニング部	中部学生ボディビル選手権大会	優勝
＊	中部学生パワーリフティング選手権大会	優勝
日本拳法部	中部日本学生拳法選手権大会	優勝:団体戦
ヨット	秋季中部学生ヨット選手権大会	団体優勝:国際470級
＊	東海学生アーチェリー選抜選手権大会	優勝:団体 男子・女子
＊	東海学生アーチェリー個人選手権大会	全国第3位:団体女子
＊	A.J.S.A.F.-CUP	優勝
ラグビー部	東海学生セブンス大会	第1位:女子200mリレー、男子400mリレー
水泳部	中部学生春季室内水泳競技大会	優勝
＊	中部学生ライフフル射撃三姿勢大会	準優勝:男子団体 組手
＊	全国空手道選手権大会	組手:男子団体 組手、男子・女子団体
＊	秋季東海学生空手道選手権大会	優勝:女子団体 組手
＊	春季東海学生空手道選手権大会	準優勝:男子団体 組手
＊	全国空手道選手権大会	優勝
バレーボール部(女子)	東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会	優勝
＊	愛知オープンバレーボール選手権大会	優勝
＊	東西インカレバレーボール女子選抜優勝大会	全国ベスト4
＊	五学連男女選抜対抗戦	全学生選(東海選抜代表・中本大学17位)
スイングオールスターズ	東海ビッグバンドコンテスト	最優秀賞

▷一般表彰(個人の部)

[illegible]

学 科	氏 名	クラブ名	大 会 名	成 績
心理 ビ情	早瀬実可子 吉永 貴俊		梅村杯長水路水泳競技大会 愛知県短水路選手権水泳競技大会 中部学生春季室内水泳競技大会 三重県短水路選手権水泳競技大会 兵庫県選手権水泳競技大会	第1位:50m平泳ぎ〔大会新記録〕 第1位:1500m自由形 第1位:1500m自由形 第1位:200m自由形 第1位:1500m自由形
法律	中根 大輔	剣 道 部	東海私立大学剣道選手権	優 勝
健康	大村 健		東海学生チャレンジカップ	優勝:女子シングルス
法律	大川 典央		東海学生チャレンジカップ	優勝:男子シングルス
ビ情	空手 綾華	射 撃 部	拳柔會全日本空手道選手権大会	優勝:有段の部
経営	水本 佑太		坪内杯全国オープン空手道大会	優勝:一般有級の部
健康	岡本 英揮	詩 武 道 部	拳柔會全日本空手道選手権大会	優勝:有級の部
法律	坂神 健太		中部学生ライフル射撃三姿勢大会	第10位学生10発(8射) 第10位10mPistol
経営	林 基樹	射 撃 部	中部女子学生ライフル射撃選手権大会	優 勝:10mS40
法律	土屋 昭人		中部学生ライフル射撃三姿勢大会	2位学生10発(8射) 第10位10mPistol
法律	小林亜由巳		中部女子学生ライフル射撃三姿勢大会	優 勝:10m3×20
法律	尾崎 将之		全日本学生リトル選手権大会	全日本学生リトル選手権の部
経営	戸根 英斗	釣 魚 ク ラ ブ 部	愛知県空手道連成大会	優勝:女子 組手
情報 経情	洲之上卓也	釣 魚 ク ラ ブ 部	愛知県空手道選手権大会	優勝:女子 組手
健康	遠藤かおる	空 手 道 部	愛知県空手道選手権大会	優勝:女子 組手
現社	小島 大幸		秋季東海学生空手道選手権大会	優勝:男子 形
経営	黒野 正峰		春季東海学生空手道選手権大会	優勝:男子 形
健康	原田砂代子	バレーボール部(女子)	東海地区空手道選手権大会	優勝:男子 形
健康	堀田 礼		東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会	最 優 秀 選 手 賞
健康	大山 夕花		五学連男女選抜対抗戦	最優秀選手賞(東海選抜代表として出場)
健康	坂本 育美		西日本大学バレーボール女子選手権大会	シ ー プ 賞
現社	深見 早代	居 合 道 部	東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会	ス バ イ ク 賞
法律	山田 和弥	居 合 道 部	五学連男女選抜対抗戦	フログ賞(東海選抜代表として出場)
法律	青木 道弘	居 合 道 部	東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会	セ ッ タ ー 賞
法律	米倉 雅人	居 合 道 部	東海インカレバレーボール女子選抜優勝大会	セ ッ タ ー 賞
日本 心理	廣瀬 由佳	居 合 道 部	東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会	ス バ イ ク 賞
総合	宮岡華奈子	居 合 道 部	大阪居合道大会	優秀演技賞・二段の部
法律	久野 哲史	書 道 部	日進市民美術展覧会	愛知中央青年会館理事長賞
法律	河合百々子	書 道 部	全日本高校・大学書道展	市 議 会 議 長 賞
			全日本高校・大学書道展	優 秀 賞
			中日書道展	優 秀 賞
			全日本高校・大学書道展	二 科 入 賞
			ふれあい書道展	優 秀 賞
				筆 部 大 賞

▷ 歯学部(団体の部)

クラブ名	大会名	成績
ラグビー部	第40回全日本歯科学生総合体育大会	総合第3位
硬式庭球部	第40回全日本歯科学生総合体育大会	女子団体第2位
ソフトテニス部	第40回全日本歯科学生総合体育大会	総合第2位
＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	男子団体第3位
＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	女子団体第3位
サッカー部	第40回全日本歯科学生総合体育大会	準優勝
＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	総合進優勝
＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	男子団体準優勝
＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	女子団体優勝
＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	男子団体戦優勝
バドミントン部	第40回全日本歯科学生総合体育大会	総合進優勝
＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	団体戦Aチーム準優勝
＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	男子団体戦準優勝
＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	団体演武の部優勝
空手道部	第44回東海学生大会	総合優勝
＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	団体演武の部優勝
＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	総合優勝
＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	団体演武の部優勝
＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	総合優勝
＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	準優勝
＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	男子メドレー戦第3位
＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	新人戦第2位

▷薬学部(団体の部)

クラブ名	大会名	成績
薬学部剣道部	第62回関西西薬学生連盟剣道大会	男子団体優勝
第62回関西西薬学生卓球大会		男子団体優勝・女子団体準優勝
薬学部卓球部		
薬学部フットサル部	愛知県フットサル「連盟リーグ(大学の部)」2007	優勝

▷ 歯学部(個人の部)

年 度	氏 名	ク ラ ブ 名	大 会 名	成 績
4	大見真衣子	硬 式 庭 球 部	第58回東海学生春季テニスマット大会	シングルス優勝
6	丹羽 雅子	フ ッ ボ ー ル 部	第40回全日本歯科学生総合体育大会	女子個人戦第3位
4	長澤亜紗美	本 拳 法 部	第40回全日本歯科学生総合体育大会	女子個人戦準優勝
4	辻本 記子	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	女子個人戦第3位
2	宗金 一孝	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	新人個人戦第3位
1	内藤 裕樹	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	新人個人戦優勝
3	本庄 泰大	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	個人戦無段の部第2位
5	外堀 恵	柔 道 部	第44回東海学生大会	女子80kg級以上以上の部優勝
		柔 道 部	中部医歯系学生少林寺拳法合同演武発表会	自由組演武の部優勝
		＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	経済武二段以上の部優勝
5	西村 誠	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	経済武二段以上の部準優勝
4	鶴田あゆみ	＊	第44回東海学生大会	女子自由組演武少女以上の部優勝
		＊	中部医歯系学生少林寺拳法合同演武発表会	自由組演武の部優勝
		＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	経済武二段以上の部優勝
4	田中 佑典	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	経済武二段以上の部準優勝
		＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	準組演武有段者の部優勝
4	渋谷健一郎	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	経済武二段以上の部第3位
4	早川 淳	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	経済武二段以上の部第3位
3	江端瑞希子	＊	第44回東海学生大会	女子自由組演武少女以下の部優勝
		＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	組演武初段の部優勝
3	川島 由衣	＊	第44回東海学生大会	女子自由組演武少女以下の部優勝
		＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	組演武初段の部優勝
3	蒔田 真実	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	組演武初段の部準優勝
3	芳金 綾香	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	組演武初段の部準優勝
3	中島 一	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	組演武初段の部第3位
3	八谷 文貴	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	組演武初段の部第3位
2	葛島 一輝	＊	中部医歯系学生少林寺拳法合同演武発表会	規定組演武の部優勝
		＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	経済武級審士の部準優勝
		＊	中部医歯系学生少林寺拳法合同演武発表会	規定組演武の部優勝
		＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	経済武級審士の部準優勝
2	鈴木 貴大	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	組演武級審士の部優勝
2	鈴木 崇之	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	組演武級審士の部優勝
1	田中 利佳	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	組演武新入会の部優勝
1	横井七果恵	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	組演武新入会の部優勝
1	徳田 篤紀	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	組演武新入会の部準優勝
1	堀居 佑作	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	組演武新入会の部準優勝
		空 手 道 部	第40回全日本歯科学生総合体育大会	男子個人戦準優勝
5	丸尾 公良	陸 上 競 技 部	第40回全日本歯科学生総合体育大会	5000m障害第3位
2	中西 隆	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	3000m障害第3位
4	小川 直寛	バドミントン部	第40回全日本歯科学生総合体育大会	男子ダブルス準優勝
2	杉本 真一	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	男子ダブルス準優勝
5	伊藤 真介	ボウリング部	第40回全日本歯科学生総合体育大会	ダブルス3位
5	伊藤 允彦	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	ダブルス3位
		＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	シングルス準優勝
4	野田 康二	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	オールイベント戦準優勝
4	野村 佳世	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	女子50mバタフライ準優勝
3	三ツ口武志	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	男子50mバタフライ準優勝
		＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	男子100mバタフライ優勝
5	伊藤世志哉	剣 道 部	第40回全日本歯科学生総合体育大会	男子個人戦級以上の部第3位
5	上原 有二	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	男子個人戦初無段の部優勝
4	河村 玲	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	男子個人戦初無段の部第3位
1	古田 英尚	卓 球 部	第40回全日本歯科学生総合体育大会	個人戦 総合第3位
5	島澤 廣義	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	個人戦 総合優勝
5	岩井晋太郎	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	個人戦 総合第3位
4	斉藤 拓実	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	個人戦 総合優勝
4	北村 隆典	＊	第40回全日本歯科学生総合体育大会	個人戦 総合優勝

▷薬学部(個人の部)

学年	氏 名	クラブ名	大 会 名	成 績
2	佐野 友香	薬学部卓球部	第40回東海地区薬学生卓球大会	女子シングルス優勝
	*	*	第51回全日本薬学生卓球大会	女子シングルス優勝、女子ダブルス3位
	*	*	第62回関西薬学生卓球大会	女子シングルス優勝
1	田中万祐子	*	第51回全日本薬学生卓球大会	女子ダブルス3位
2	植原 志歩	薬学部剣道部	第62回関西薬学生剣道大会	女子個人の部優勝
2	堀野 真史	薬学部ソフトテニス部	関西薬学生ソフトテニス大会	男子ダブルス優勝
1	和田 清文	*	第62回関西薬学生ソフトテニス大会	男子ダブルス優勝